

5年生

教科	成果	課題	重点取り組み
国語	<ul style="list-style-type: none"> ・説明文において、筆者の主張、要旨を読み取ることができるようになってきた。 ・物語文において、登場人物の心情や行動を正しく読み取ることができるようになってきた。 	<ul style="list-style-type: none"> ◎漢字の定着における個人差が大きい。 ・語彙の数が少ない。 ・筆者に対する自分の考えを「書く」こと。 	<ul style="list-style-type: none"> ・漢字ドリル・タブレットを活用し、習熟を図り、漢字の小テストを定期的に行う。 ・国語の教科書の巻末「言葉の宝箱」を活用し使える言葉を広げるとともに、新しく獲得した言葉を日頃からも使うように指導を重ね、定着を図る。 ・自分の考え、学習感想などを書く時間を頻繁に設け、自分の考えを書くことに慣れるようにしていく。
算数	<ul style="list-style-type: none"> ・算数的活動にすすんで取り組む児童が多い。 ・立式から課題解決までの過程において、根拠に基づいて自分の考えを表せる児童が増えてきた。 ・比例や割合についての基礎・基本は定着しつつある。 	<ul style="list-style-type: none"> ◎答えを求めた後、検算をしたり、見直しをしたりすることをせず、間違いに気付かないことがある。 ・分度器の見方や角の大きさについて基礎の定着が不十分な児童が一定数いる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・設問をよく読み、設問に合わせて答えを導き出せるようにする。 ・自分の考えを図や数直線等を使って表し、根拠とすることができるようにする。
社会	<ul style="list-style-type: none"> ・興味・関心が高く、意欲的な取り組みが見られる。 ・写真・映像などの資料を効果的に取り入れることによって知識が定着してきている。 	<ul style="list-style-type: none"> ◎資料を正しく読み取ることが苦手な児童がいること。 ・社会的事象について、疑問に思ったことや感じたこと、自分の考えを書くことに苦手な児童がいること。 	<ul style="list-style-type: none"> ・資料の読み取り方を丁寧に指導し、自力解決の時間を確保する。 ・資料から分かったこと、疑問に思ったことを考えさせ、自分の言葉でノートにまとめさせる。
理科	<ul style="list-style-type: none"> ・理科への興味・関心が高く、特に、実験・観察に対して意欲的な取組が見られる。 ・写真・映像などの資料を効果的に取り入れることによって知識が定着してきている。 	<ul style="list-style-type: none"> ◎考察（予想・結果）を書く際、自分の言葉でまとめることが苦手な児童がいること。 ・理科的な用語を正しく覚えられない児童がいること。 	<ul style="list-style-type: none"> ・結果から分かったこと、結果から生まれた新たな疑問など、考察に書く内容を具体的に示すことや例題に即した内容を掲示するようにする。

<p>音楽</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・歌唱や器楽演奏に積極的に取り組む姿が見られる。 ・互いの音を聴きながら、音量のバランスや響きに気を付けて、旋律楽器や打楽器を演奏することができる。 ・友達と協力しながら演奏したり、音楽づくりをしたりすることを楽しんでいる姿が見られる。 	<ul style="list-style-type: none"> ◎リコーダーや鍵盤楽器など、技能面での個人差がある。 ・楽曲を聴いて、曲想の変化や曲の特徴を音楽の要素から見付け出し、言語で伝える力が弱い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・適宜個別指導を行い、楽器演奏を苦手と感じている児童をサポートする。 ・児童の実態に合わせて、課題をスモールステップにしたり、編曲したりして、一人一人が演奏に対して自信をもてるようにする。
<p>図工</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・友達の表現を認め合いながら、楽しく活動に取り組んでいる。 ・自分の思いをもって伸び伸びと作品制作ができる児童が多い。 	<ul style="list-style-type: none"> ◎材料の特徴を生かして表し方を工夫することが難しい児童がいる。 ・意欲を持続させて粘り強く取り組むこと。 	<ul style="list-style-type: none"> ・視覚的に分かりやすい導入になるように、発問や提示資料を精選する。 ・活動の途中に互いの活動を鑑賞する機会を設けて、どのように組みれば良いか自分で気付くことができるようにする。
<p>家庭</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・全体的に積極的に取り組むことができ、特に、作品作りには、意欲的に取り組む児童が多い。 ・裁縫道具を正しく使い、作品を作ることができるようになってきた。 	<ul style="list-style-type: none"> ◎学校や家庭において、知識の活用を図れるよう指導を工夫していく。 ・手先の不器用さにより、縫い目がそろわない児童がいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭科で学習したことを日常生活に関連付けることで、より一層の理解の定着を図っていく。
<p>体育</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・運動に対する意欲が高く、友達と協力しながら取り組むことができている。 ・体育に関する道具を正しい使い方できている。 	<ul style="list-style-type: none"> ◎自分の課題に向かって、どう取り組めばよいのか分からず、ただ単に取り組む児童が多い。 ・運動技能に個人差があり、習得に時間を要する児童もいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・運動のポイントを学ぶ時間、学び合いの時間を意識的に設け、さらに深い学びにつなげていく。
<p>外国語</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・全体的に積極的に取り組むことができ、英語を聞き取ろうとしたり、すすんで声を出して発音したり意欲的に取り組む児童が多い。 	<ul style="list-style-type: none"> ◎単語を聞き取る際、似た発音の単語を間違えて覚えていることがある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・綴りを見せたり、音と物を一致させるためにフラッシュカードを使用したりする。